

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部広聴広報課		■担当係	広聴係
■評価事業名称	市民意識調査			
■評価事業コード	010300 - 004	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進		
	■施策	02 広聴活動の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市総合計画			
■事業の概要	北上市の各施策について、市民が感じている満足度及び重要度を定期的に把握し、今後の施策の方向性を検討する基礎資料とするとともに、行政評価や事業企画書等に活用し行政サービスの改善につなげる。施策ごとの満足度、重要度の調査。調査結果を、市の施策の展開に生かす。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 26 年度事業計画	平成 26 年度事業量実績
01	市民意識調査	市民	①20歳以上の市民1,300人を対象に市民意識調査を実施②居住地域・年齢・性別構成に偏りがないよう対象1,300人を抽出③7月調査開始④回収目標40%⑤11月結果集計・報告書作成⑥結果を経営者会議・議会・グループウェアで報告共有	①20歳以上の市民1,300人を対象に市民意識調査を実施②居住地域・年齢・性別構成に偏りがないよう対象1,300人を抽出③7月調査開始④回収率34.2%⑤11月結果集計・報告書作成(速報)⑥結果を経営者会議・議会・グループウェアで報告共有、広報で市民周知

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費		1,025		563	
人件費		2,439		2,991	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		3,464		3,554	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	アンケート回収率		0.312(406件)		0.342(444件)	統計上一定の効果を有する割合を達成している。
03	「政策」での事業企画において、調査結果を参考とした割合					調査結果考慮事業の件数／全「政策」事業
04	1回答あたりのコスト		8,980円		8,004円	フルコスト/回答数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	回答率は平成24年度調査時より上昇し、必要回答率(約29%)も達成している。	回答者の男女、年齢、地区別等に偏りがある。集計後の分析については、視点が多様であり、その内容について検討が必要である。
1. 直接的な受益者の範囲 ☒ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☐ 類似の事業はない ☒ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☒ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☒ II. 継続 ☐ III. 縮小・要改善 ☐ IV. 民間活用・協働事業化 ☐ V. 廃止・休止 ☐ VI. 完了	補足説明	